

平成 27 年度 日本大学 感染症診断オープンスキルラボ アンケート集計

実地日 :平成 28 年 3 月 9 日、同 11 日

会場 :日本大学生物資源科学部 621 実習室

参加学生:18 人(東大 2 名、麻布大 3 名、日獣大 5 名、日大 8 名)(すべて 3 年生)

(アンケート回収 17 名)

1. 参加の動機、きっかけは何ですか？

- ✓ 感染症に関わる研究がしたかったから。
- ✓ 興味があったから。
- ✓ 学内メールで案内をいただき、興味があったので。
- ✓ 猫ひっかき病に興味があり、研究をしている数少ない大学での実習を体験したかったから。
- ✓ 原因菌を同定する検査に興味があった。
- ✓ 狂犬病、猫ひっかき病に興味があったため。
- ✓ 感染症診断の手技、手法を知り、実際にやってみたかったからです。
- ✓ 先生からの告知で知って、小動物に関連することだったので参加してみたいと思い、参加しました。
- ✓ 担任からのメーリングリスト。
- ✓ せっかくの春休みにゆっくりじっくり学べる機会があったから。
- ✓ 人獣共通感染症にもともと興味があり、関心のあるテーマを扱いそうだったから。
- ✓ 4 年から始まる研究室や実習などの基礎的な知識をつけるため。また、バルトネラや狂犬病の診断に興味があったため参加しました。
- ✓ 少人数での実習ということで、確実に手技を学べ、今後の研究室での活動にも生かせると考えたため。
- ✓ 狂犬病の診断に興味があったから。
- ✓ 学内でのチラシ掲示を見て。学年メーリングリストを見て。
- ✓ 感染症に興味があったから。

2. 今回の実習に興味を持ってましたか？

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 興味を持てた | ・・・13 人(76.5%) |
| 2. どちらかといえば興味を持てた | ・・・4 人(23.5%) |
| 3. どちらかといえば興味を持てなかった | ・・・0 人 |



3. 実習の目的と意義について貴方は理解できましたか？

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. おおよそ(90~100%)理解できた | ・・・9人(52.9%) |
| 2. 半分以上は理解できた | ・・・8人(47.1%) |
| 3. 半分も理解できなかった | ・・・0人 |

4. 実習の分量についてはどのように感じましたか？

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. どちらかという和多い | ・・・0人 |
| 2. ちょうど良い | ・・・16人(94.1%) |
| 3. どちらかといえば少ない | ・・・1人(5.9%) |



5. 実習内容の難易度についてはどのように感じましたか？

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 難しい | ・・・0人 |
| 2. どちらかといえば難しい | ・・・2人(11.8%) |
| 3. ちょうど良い | ・・・14人(82.4%) |
| 4. どちらかといえば易しい | ・・・1人(5.9%) |
| 5. 易しい | ・・・0人 |

(1または2と回答した方: どういったところが難しかったですか？)

何故この過程が必要なのか理解しきれないものがあった。

6. 実習の進め方はいかがでしたか？

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 速い | ・・・0 |
| 2. どちらかといえば速い | ・・・0 |
| 3. ちょうど良い | ・・・17人(100%) |
| 4. どちらかといえば遅い | ・・・0人 |
| 5. 遅い | ・・・0人 |



7. 今回、オープンスキルラボとして連携大学での実習を開講したことについて、どのように評価しますか？

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 大いに評価する | ・・・14人(82.4%) |
| 2. ある程度評価する | ・・・3人(17.6%) |
| 3. どちらかといえば評価しない | ・・・0 |
| 4. 全く評価しない | ・・・0 |

(3または4と回答した方へ:評価できない理由は何でしょうか?)

8. その他、オープンスキルラボ実習への要望や意見などを自由に記載してください。

- ✓ 非常に面白く、楽しい実習でした。このような機会がもっと増えると嬉しいです。
- ✓ 名簿があれば良いと思います。
- ✓ 普段授業で扱わない疾病を扱うことができ良かった。今後もこのような機会があれば参加したい。
- ✓ 事前の連絡が無く、不安だったので、次回開催時には詳しいスケジュールも知れたかったです。後、大学毎に掲示の時期が違うようだったので、統一した方が良いかと思います。
- ✓ 小動物臨床に関する実習をやって欲しい。
- ✓ 他の疾患に関しても実習があったら参加してみたいと思いました。班に必ず一人以上先輩がついてくれたので、大学の普段の実習よりわかりやすく、理解しながらできたと思います。
- ✓ 他大の人と仲良くなれて、とても楽しく、貴重な機会でした。次回もあつたらぜひぜひ参加したいです。4年生以上の高学年が参加しても楽しめるようなものを企画してもらえたら嬉しいです。
- ✓ 他大で開催する実習についても教えていただきたいです。
- ✓ 食中毒に興味があるため、食中毒に関わる細菌の実習を行ってみたい。
- ✓ 電気泳動とかの原理をもっと知りたい。
- ✓ 途中の工程を省略した(研究室の人がやった?)ところがあったので、次回はすべてやってみたい。今回は狂犬病と猫ひっかき病の2つおこなったが、1つでもいいので、もう少しがっつきできたら嬉しいと思った。先生、研究室のみなさま、ありがとうございました。
- ✓ 猫ひっかき病のバルトネラ属菌の分離培養の結果が見たかったです。(後日、通知の旨参加学生に周知済:担当教員)

